

事業所における自己評価結果

公表:令和 6年 5月 30日

事業所名 ソフィアスペース上津役

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		利用定員の観点から適切なスペースを確保している。	
	②	職員の配置数は適切である	○		安心・安全を担保する為に基準以上の人員を確保しつつ、専門的知識を持つスタッフを配置している。	ご利用者様に更に寄り添った支援が出来るよう、また今まで以上に手厚い支援を行う為に、配置スタッフを増やしていく。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		各部屋で構造化できている。	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		毎日の清掃を欠かさず、適度な換気も行っている。	今後も毎日の換気・清掃を欠かさず、感染症対策も含めた清潔の維持に務める。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		朝礼やカルテを用いて、情報の共有化を図っている。	今後は、スタッフ一同が出席し、PDCAサイクルに参画する。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている		○		今回が初回の評価表となる為、今回より、保護者様の意向等を把握し、公開するものとする。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している		○	今回が初回の評価表となる為、今後、保護者様の意向等を把握し、公開するものとする。	会報等の作成には、今後、前向きに取り組んでいきたい。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		現状、外部評価を行っていないが、前向きに検討する。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		月に一度の勉強会の他に外部に委託し、zoomにて学ぶ機会を設けている。	今後も資格取得を含め、個々が学ぶ機会を積極的に推奨していく。
	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		アセスメントをもとに、個々の利用児童に合わせた計画書を作成している。	目標に対しての振り返りを行うミーティング等を積極的に行っていく。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		療育カルテを導入している。	療育カルテが上手く活用できていない所も見受けられる為、質の高い療育を行う為に、確りと活用していく。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		支援に必要な項目を話し合い、個別支援計画に明記している。方法を明確にした具体的な支援内容や評価を確実にできるような目標を設定している。	項目によっては、分かり難い部分もある為、今後、明確化できるよう取り組んでいく。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		計画を定期的に見直しながら、それに沿った支援を行っている。	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		児童指導員・公認心理士が中心に会議し活動計画を考えている。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		利用児童の適正を考慮しつつ、毎日、日替わりで工夫した活動を行っている。	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成している	○		個別支援と集団活動を織り交ぜつつ、個々の療育に取り組んでいる。	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		担当職員同士での打ち合わせを行い、活動や送迎の確認、個別支援の分担等の確認をしている。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		担当職員同士での打ち合わせを行い、その日の支援での児童の様子や、送迎時に気づいたこと、活動や支援の振り返り等を共有している。	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		療育カルテ・ケア記録に記録を残し、振り返りを行っている。	
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		3か月毎にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しを行っている。	
		⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		必ず児発管が参画している。必要に応じ公認心理士等、その他の者が同席する事もある。
	㉑	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		市町村の保健センターや相談支援事業所と連絡を取り合い連携を行っている。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	⑳	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている			該当なし	
	㉑	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている			該当なし	
	㉒	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		幼稚園等と併用しているお子様の殆どが移行を見据えている。幼稚園等とも情報共有させて頂いている。	
	㉓	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		来年度に入学予定のお子様については、早期就学相談等への参加を促し、その後、適切な対応をさせて頂いている。	
	㉔	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		児童発達支援センターや母子通園施設と連携し、併用利用されている利用者様がいる。	
	㉕	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	○		主に土曜日、月に3度ほど交流の場を設けている。また、公園レクでは、遊びに来ているほかのお子様との交流を行うこともある。	
	㉖	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		事業所連絡会等には、出席している。	
	㉗	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		送迎時やアプリを用い、日々やりとりを行っている。必要な時は、電話や来所にて、ゆっくりとお話をさせて頂いている。	定期的に、ご自宅での状況等をヒアリングする機会をつくる。
	㉘	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		必要に応じて、面談・助言等を行わせて頂いている。	
㉙	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に、重要事項説明書の中で、説明をさせて頂いている。		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		ガイドラインに基づいて、個別支援計画の作成、保護者への説明を行っている。その後、同意を頂いた後に、ご署名・押印を頂いている。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		モニタリングの際や、その他、必要に応じ、面談や電話にて対応させて頂いている。	ご家族様によっては、関りが少ないご家庭もある為、もう少し、ご家族様との関りを増やしていく。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	今後、要望があれば保護者会や保護者向けのイベントを行う予定。	親子参加型プログラムを立案し、要望があれば保護者同士の交流を行える準備を行う。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		相談等の申し入れの際には、即座に児発管より電話、若しくは訪問等にて対応させて頂いている。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		ホームページをはじめ、インスタグラム・お手紙・ご利用者様向けアプリにて発信している。	会報等の作成には、今後、前向きに取り組んでいきたい。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		個人情報は、鍵付き書庫に保管し、写真等の取り扱いも、ご希望に合わせて慎重に取り扱っている。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		ご利用者様向けアプリを使い、日々の活動の様子を写真付きでお知らせしている。また、保護者の方からの情報発信にも用いている。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		開所時には、夏祭りを行い、近隣の子供たちを招待した。	今後、また行えるよう前向きに準備していく。
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		契約時にはマニュアル等の案内・説明をさせて頂いており、スタッフには定期的な訓練を実施している。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		年に2回、訓練を行っている。	
43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		くすり連絡票をご家族様に記入して頂いている。		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の対応	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		アセスメント時に確認し、アレルギーのあるお子様については、ご利用開始の事前に、改めて、テストを受けて頂き、結果を把握させて頂いている。	
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		都度、作成し事業所内で共有している。	
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		職員研修でも議題として取り上げている。	
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		契約時に重要事項説明書の中で説明を行っている。また契約時には必ず承諾書を提出して頂いている。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。